

【5】前期課程の修了と学位の取得について

1. 修業年限と在学年限

修業年限は原則として2年とし、4年を超えて在学することはできない（休学期間は「在学」に含まない）。ただし、優れた業績をあげた者については、研究科教授会での審議により短縮することもできる。

2. 修了要件

- (1) 博士課程（前期課程）に2年以上在学すること（休学期間は「在学」に含まない）。
- (2) 所定の単位以上を修得すること。

修士論文により修了する場合－30単位

課題研究により修了する場合－38単位

- (3) 必要な研究指導を受けたうえ、修士論文または課題研究を提出し、その審査および最終試験に合格すること。

なお、修士論文の審査は、主査1名と副査2名により行う。また、特定の課題研究の審査は、主査1名と副査1名により行う。いずれの場合も、研究科教授会で審議して合否を判定する。

3. 履修方法と修了に必要な単位数

「履修方法」を参照（2020年度以降生P.17、2018・2019年度生P.19）。

4. 修士論文および課題研究の作成と提出（学位審査基準）

(1) 修士論文

修士論文は、博士前期課程での学修・研究の成果として、優れて独創的な研究能力を有することを示すものでなければならない。そのため当該研究領域の先行研究に関する整理や論点の提示、または客観的な論証手続きにもとづく論述が必要となる。

(2) 課題研究

課題研究とは修士論文に代わるもので、博士課程（前期課程）での学修・研究の成果として、論文と同様に、主査・副査の審査を経なければならない。課題研究は、博士課程（前期課程）の修了要件としての論文に代わるものであるが、論文のように独創的な研究と成果を求めるものではない。博士課程（前期課程）での学修・研究の成果として、高度の専門性が要求される職業等に必要とされる能力を有することを示すものでなければならない。

注意

「修士論文提出による修了」を選択した者は、事務室への届出以降は、38単位を修得見込みであっても、「課題研究提出による修了」に変更することは原則として認めない。同様に、「課題研究提出による修了」を選択した者が「修士論文提出による修了」に変更することも原則として認めない。

5. 提出要領

(1) 提出期間と時間および提出先

- 3月修了希望者：2024年1月12日（金）～1月19日（金） 9時～11時30分、12時30分～17時
- 9月修了希望者：2023年6月22日（木）～6月30日（金） 9時～11時30分、12時30分～17時

●提出先：GS研究科事務室（事務室の開室日・開室時間に限る。）

- ・提出前の諸手続を全て完了していること。（P.25 参照）
- ・必ず指導教員の承認を得てから提出すること。
- ・提出期間以外の提出は受け付けない。
- ・本人が必要書類をすべて揃えて窓口を持参すること。
- ・受付時、事務室側で書類確認は行わない。受付後の差替え、追加、返却もできない。
- ・提出期間最終日は、事務室内（閲覧室内コピー機を含む）での作業は不可。
- ・休学中は提出できない。
- ・長期履修生は、延長した年限の最終年度後半を迎えるまでは提出できない。
（例：4年履修の場合、4年目の秋学期提出期間にならないと提出できない）

(2) 受理の決定

提出書類にもとづいて研究科教授会で受理の可・否を審議し、「可」となった場合は修士論文（課題研究）の審査対象となる。受理の可・否の結果は指導教員に確認すること。

(3) 提出書類と部数

- ①修士論文（製本用2部、審査用3部）
課題研究（審査用2部）
（綴じる順序は「(6) その他」を参照のこと）
- ②論文梗概（Abstract）（修士論文の場合は製本用2部、審査用3部、
課題研究の場合は2部必要）
- ③製本代納入済証1部（5,720円、証明書発行機<志高館1階>で納入）
（課題研究の場合は製本しないため、納入済証は不要）

(4) 様式

- ①修士論文・課題研究本文（Body text）
〈修士論文〉
 - ・日本語の場合…A4、横書き、40字×30行、34枚程度（図表、写真等、参考文献は含まない）、片面使用、左横綴じ
 - ・英語の場合…A4、ダブルスペースで50枚程度（12ポイント、Times New Roman）
（図表、写真等、参考文献は含まない）、片面使用、左横綴じ〈課題研究〉
 - ・修士論文の半分程度、片面使用、左横綴じ
- ②修士論文・課題研究梗概（Abstract）
 - ・本文とは異なる言語で作成すること。（日本語で修士論文・課題研究を執筆した場合は、英語で作成すること。ただし英語で修士論文・課題研究を執筆した場合は、英語でもよい。）
 - ・日本語の場合…A4、横書き40字×30行、1枚程度、片面使用、左横綴じ
 - ・英語の場合…A4、ダブルスペースで1枚程度（12ポイント、Times New Roman）、
片面使用、左横綴じ※①②は、タイプ打ちで作成すること

(5) 無断引用の禁止

文献、図表等を、出典を明記せずに引用した場合は不合格とする。

(6) その他

- ① ・ 審査用 3 部（課題研究の場合は 2 部）は、表紙・背表紙を貼り付けたレバーファイルに綴じて提出すること。
順序：中表紙→梗概→目次→論文（本文）→参考文献
・ 製本用 2 部（課題研究の場合は提出不要）は大きなサイズの封筒に入れて提出すること（封筒の表に学生 ID と氏名を記入）。
- ② 事務室窓口にて綴じ見本を閲覧可能。

6. 最終試験

- (1) 博士課程（前期課程）の修了判定（修士論文・課題研究）の最終試験として、口頭試験を実施する。
提出された修士論文・課題研究について 3 月修了予定者は 2 月中旬（2024 年 2 月 14 日（水）を予定）、9 月修了予定者は 7 月下旬（2023 年 7 月 20 日（木）を予定）に実施する。
- (2) 修士論文による修了については、原則として所属クラスター教員の中より、主査 1 名、副査 2 名が審査（口頭試験）を行う。
- (3) 課題研究による修了については、主査 1 名、副査 1 名が審査（口頭試験）を行う。

7. 博士課程（前期課程）の修了

- (1) 博士課程（前期課程）に原則とし 2 年以上在学し、大学院学則所定の単位を修得し、必要な研究指導を受けたうえ、修士論文または課題研究を提出して、その審査および最終試験に合格することで修了となる。
- (2) 博士課程（前期課程）修了の認定は、研究科教授会の議を経て、研究科長会での学位論文総合審査で決定される。

8. 学位の授与

本研究科博士課程（前期課程）を修了した者には、クラスターにより、以下の学位が授与される。

修士（アメリカ研究）（同志社大学）Master of Arts in American Studies

修士（現代アジア研究）（同志社大学）Master of Arts in Contemporary Asian Studies

修士（グローバル社会研究）（同志社大学）Master of Arts in Global Society Studies

9. 学位授与式

3 月および 9 月に学位授与式を行う。

なお、すべての科目を英語で履修した場合に限り、英文学位記を発行することができる。

10. 修士学位論文の保管

修士学位論文は、グローバル・スタディーズ研究科に1部を保管する。

11. 修士学位取得までのプロセス

[] は9月修了の場合

第1年次	年度初め	<ul style="list-style-type: none"> 履修科目の登録 研究指導教員の決定（指導教員届〔所定用紙〕を事務室に提出） 「研究計画書」提出（様式自由、指導教員へ提出） 	
	各学期中	<ul style="list-style-type: none"> 演習科目で研究指導・研究発表 研究成果の公表に努める 	
	年度末	<ul style="list-style-type: none"> 「研究成果報告書」の提出（様式自由、指導教員へ提出） 	
第2年次	年度初め	<ul style="list-style-type: none"> 【A】履修科目の登録（「論文」を登録） 【B】「研究計画書」提出（様式自由、指導教員へ提出） 	
	7月末 [1月末]	<ul style="list-style-type: none"> 【C】「修士論文・課題研究 選択届」（所定用紙）提出 ※修士論文提出か課題研究提出による修了かを指導教員と相談の上、左記の期日までに事務室に届け出る。（ただし、休日の場合は、前日もしくは前々日の金曜日とする） 	
	10月末 [4月末]	<ul style="list-style-type: none"> 【D】「修士論文・課題研究 題目届」（所定用紙）提出 ※論文提出者、課題研究提出者共に、題目を左記の期日までに事務室に届け出る。（ただし、休日の場合は、前日もしくは前々日の金曜日とする） 	
	各学期中	<ul style="list-style-type: none"> 演習科目で研究指導・研究発表 研究成果の公表に努める 	
	11月末 [5月末]	<ul style="list-style-type: none"> 【E】草稿を指導教員に提出（※草稿…修正可能な最終稿） 	
	1月12日～1月19日 [6月22日～6月30日]	<ul style="list-style-type: none"> 修士論文、または課題研究提出 ※修士論文または課題研究の提出にあたっては、上記【A】～【E】の手続きを全て完了しておかなければならない。【C】および【D】はグローバル・スタディーズ研究科HP内、「各種申請・提出書類」ページからダウンロードすること。 	
	修士論文および課題研究審査	論文提出後	<ul style="list-style-type: none"> 修士論文審査委員の選定（主査1名、副査2名を、研究科教授会で決定） （課題研究審査の場合は、主査1名、副査1名）
		1月下旬～2月中旬 [7月～8月上旬]	<ul style="list-style-type: none"> 修士論文（論文査読・口頭試問） 課題研究（査読・口頭試問）
		2月中旬 [9月初旬]	<ul style="list-style-type: none"> 合否決定（研究科教授会）
		3月初旬 [9月中旬]	<ul style="list-style-type: none"> 博士学位論文総合審査（研究科長会）
3月下旬 [9月下旬]		<ul style="list-style-type: none"> 学位授与式 	